

この山に登ろう②

くらはしじま ひやま
倉橋島 火山 408m

広島県呉市倉橋町



頂上からのながめ

広島県山岳連盟 事務局長 松島 宏

12月下旬、強烈な寒波の到来により県北の山は雪に覆われてしまいました。前回紹介した広島県の最高峰、恐羅漢山もスキー場として活況を呈し始めました。ハイキングは雪解けの4月までお預けです。こんな寒い季節は、思いきって雪山に挑戦するか、そうでなければ、南の島嶼部の低山で陽だまり登山を楽しんだらいかがでしょうか。下山後の楽しみは温泉が一番ですので、今回はその両方を兼ね備えた呉市の倉橋島の火山を紹介します。

自家用車、広島市からならクレアラインを

利用し、音戸大橋を渡り約1時間で登山口の呉市倉橋町桂浜に来ることができます。また、公共交通機関ならJR呉駅から呉市営バスで約1時間です。下山後に入る桂浜温泉館の駐車場か、桂浜西洋式ドック前の万葉の里の無料駐車場に車を置きます。ここには案内所も併設され、火山登山の地図も入手できます。桂浜温泉館発着の火山登山を案内しましょう。

位置的には広島県最南端の山です。標高は408mと低いですが、ほとんど海拔0mからの登りですので登り甲斐はあります。火山の





登山口



延命地蔵



登り始めのみかん畑

魅力は何と言っても頂上の大岩からの360度の絶景です。瀬戸内の島々の眺めは最高です。瀬戸内海の多島美を堪能できます。名前の由来は昔の通信手段の狼煙^{のろし}を頂上で焚いた、ということで火山となったようです。

県道を50mほど西に戻り恵比寿神社から小路に入ります。古い道標に導かれながら延命地蔵を過ぎ、火山登山道の古い看板から左に曲がり山に入ります。猪避けの柵がありますので通過後は閉めてください。古い墓を通過し、左にみかん畑を見ながら尾根を登ります。登山道にはミニ八十八カ所巡りの石仏が次々と現れます。左から白華寺^{はくわじ}からの道が合流します。途中赤岩という巨岩を左にみながら進むと分岐が現れます。この分岐は左にとり登山道は斜面をトラバースして行きます。このあたりからの眺めは最高です。水場の谷を通過しながら進むと急な階段が続く、やがて宇和木峠からの登山道にぶつかります。

案内板があります。ここから頂上まではもう少しです。大きな岩を縫うように木製の階段が続き頂上の大岩に到達します。ロープや階段を使い大岩の上に立つことができます。眺めは最高です。ただし、岩から落ちないように十分に気をつけてください。頂上の大岩から南に50m下ると別の巨大な岩がありよじ登ることができます。少々危険でスリルがありますが気持ちのよい展望台です。ぜひとも登ってください。

下山ルートは頂上から東に下ります。後火

山(455m)とのコル(鞍部)に東屋と水洗トイレと駐車場があります。車で宇和木峠から上がれます。時間があれば後火山の往復もできます。後火山頂上には三角点がありますが、眺望はありません。駐車場の鞍部から南に下ります。上った尾根の一本東の尾根を下山してゆきます。途中地図上の179mの標高点あたりで上ってきた西の尾根からの道が合流します。分岐を左にとって下山してゆくと墓所を通過して温泉に向かって下りていくことができます。全コース、2時間から3時間で回れます。後火山を訪れても正味4時間もあれば楽しめます。

下山後は温泉へ。地下1650mから湧き上がる源泉は茶褐色の少し塩分のあるラドン温泉です。入浴料は大人600円、子供300円、月曜日が定休日です。売店や食堂が併設されています。近くに桂浜神社、遣唐使船の造船歴史館など見所も沢山あります。

(まつしま ひろし)



頂上にて